

まざらいで代^{しろ}かきをしたあと、田^う植えがしやすいように田の表面^{ひょうめん}を平らにするために使いました。

② 米を作るときに使った道具



せんばこぎ



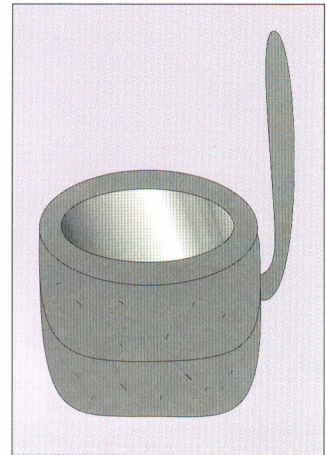
とうみ



するす



まんごく



いしうす

いねかりをしたあと、よくかんそうさせ、〈せんばこぎ〉でいねこきをし、〈とうみ〉でごみをとって、もみにしました。もみは、〈するす〉でひき、〈まんごく〉にかけて、^{げんまい}玄米にしました。

^{げんまい}玄米は〈ばったり〉や〈水車〉にかけて米つきをして、〈とうみ〉でふいてぬかをのぞいて、ようやく食べられる^{はくまい}白米にしました。

むかしの^{さぎょう}作業は^{きょうどうさぎょう}共同作業が多く、〈ばったり〉や〈水車〉はどこの村にもたくさんありました。